

CSR調達

調達基本方針

当社は購入品調達にあたって「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

購入品調達の基本方針

- 相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築
相互の努力と公正なお取引を通じて、ベストパートナーとしての長期的な信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。
- 公正かつオープンな調達
当社は、国籍、規模、系列等を問わず、オープンな参入機会を提供し、品質、価格、納期、サービス、技術力、開発力を総合的に勘案してお取引先を選定しています。
- 法規順守と機密保持
調達活動においては、関連する法規と社会規範を順守しています。また、お取引先を通じ知りえた機密情報は、ご承諾なしには第三者に開示いたしません。

CSR調達ガイドライン

最近の社会動向として、企業不祥事、経済危機にともなう雇用・労働問題の顕在化や地球環境問題などを契機に、企業の社会的責任(CSR)に対する取り組みの強化が期待されています。その中で、取引先の皆様にも当社のCSR活動についてご理解いただき、相互信頼のもとに、当社だけでなくサプライチェーン全体でCSRを果たすよう努めていきたいと考えており、その活動の一環として「CSR調達ガイドライン」を制定しました。

グリーン調達

当社は、購入品調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。取引先の皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄に至るすべての段階を通して環境負荷物質の管理を推進するとともに、廃棄物を含めて環境負荷の削減を図っています。

化学物質のサプライチェーン連絡および海外の法令対応がますます重要になってきたことから、2019年10月に内容を全面刷新しました。

紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)への対応

近年アフリカのコンゴ周辺地域で採掘される鉱物資源が、不正に採掘され、人権侵害、環境破壊等を引き起こしている反政府武装勢力の資金源となっている可能性が懸念されています。2010年に米国で成立した、いわゆる金融規制改革法では、タンタル、すず、金、タングステンを紛争鉱物と定義し、米国の証券取引所に上場している企業に対して、製品への紛争鉱物の使用に関する情報開示を義務付けており、最終的には「紛争に資金的に加担する」紛争鉱物の使用を排除することを目的としています。

当社は、紛争鉱物由来の原材料、部品の調達において、CSRの視点より米国の金融規制改革法の趣旨に賛同し、お客様やサプライヤーと連携し、不正に採掘された紛争鉱物の不使用に向けた取り組みを進めていきます。

VOICE

長きにわたる鋼材供給のパートナー



株式会社メタルワン
常務執行役員
線材特殊鋼・ステンレス本部長
赤坂 太郎 さん

鉄鋼総合商社のメタルワンは、自動車用懸架ばねやシート、精密ばね用等の様々な鋼材をニッパツに供給しています。当社の強みであるグローバルネットワークや情報力を最大限に発揮し、鋼材の安定供給、物流の効率化をはじめとするサービスを提供することで、ニッパツの事業推進に協力体制を築いています。

ニッパツ創業以来、メタルワンの株主である双日の前身、日商(後の日商岩井)の時代から、鋼材供給のパートナーとして、長きにわたり取引引きを継続してきました。今後も同社の成長とグローバル展開を支援し、さらなる関係を構築して

いきたいと考えています。

ニッパツの強みは、企業理念の冒頭にも記されているとおり、「グローバルな視野」のもと、各地域に確立された供給体制を構築されている点です。引き続き世界的に伸長が期待される自動車需要を捕捉するうえで、現地での生産・製品供給体制をいち早く築いている点は企業理念に基づいた活動の結果が表れている好例であると考えます。

ニッパツの海外における現地生産に伴う素材調達に対して、鋼材供給の観点から協力させてもらうことがメタルワンの使命です。ニッパツの様々なニーズに対して環境変化にマッチした形で応えながら、今後ともお互いに発展していくことを期待します。